誕生から20年。「にいがた総おどり祭」は、
新潟に、世界に、社会に、未来に、何をもたらしたか。

NIIGATA SOH-ODORI THE MOVIE

EPISODE

— 世界を想い、今日を奏で、明日を創る —

監督：能登剛史　編集：能登剛史、丸山智子　音楽：松浦晃久　主題歌：「Orange！」澪/mio

<CAST/DRAMA> 澪/mio／高橋朋花／原碧／星野香代子　<CAST/INTERVIEW> 阿部幸代（にいがた総おどり祭参加チーム 代表）／市山七十郎（日本舞踊市山流 七代目家元）／井上昇（天空しなと屋しん 代表）／太下義之（同志社大学教授）／岡澤花菜子（永島流新潟樽砧伝承会代表）／小黒美津子（となりのみっつ店主）／小山豊（津軽三味線小山流 三代目）／加藤種男（アーツカウンシルしずおかアーツカウンシル長）／小嶋一則（地域魅力創造アドバイザー）／小林正輝（小林履物店四代目）／近藤希美（美容師・エステティシャン）／佐藤晴香（早稲田大学 踊り侍 20代目副幹事長）／宮野敦司（公益財団法人鼓童文化財団専務理事）／鈴木健斗（Tokyo総おどり実行委員長）／高橋朋花（にいがた総おどり連 新舞 前サークル長）／田村佑介、渡辺百枝（新潟万代太鼓 華龍）／中川雅之（ISANA代表）／中澤利彦（NY在住プロダンサー）／中林咲絵（にいがた総おどり東京講習会発起人）／林愛結（K-POPアイドル志望生）／肥田野正明（まちごと美術館館長）／船橋裕一郎（太鼓芸能集団 鼓童代表）／松浦晃久（音楽プロデューサー）／武藤久江（にいがた総おどりサポーター）／山田勇気（Noism0メンバー・Noism1リハーサル監督）
※50音順・敬称略

2021／日本／カラー／80分／日本語　企画制作：Sight Inc.／新潟総踊り祭実行委員会

www.soh-odori.net

2021.09.12 SUN ―― 09.20 MON Holiday　［ シネ・ウインド ］

新潟の家元だから、
守れたものがある。

日本舞踊市山流七代目家元 市山七十郎

CAST VOICE

刺激と再構築の先に、
文化は持続可能になる。

鼓童文化財団専務理事 菅野敦司

『置かれた場所で咲きなさい』
私の座右の銘なんです。

永島流新潟樽砧伝承会代表 岡澤花菜子

総勢27人の声が、文化の未来に光を当てる

INTRODUCTION

踊りは、感動ある世の中を、作ることが本当にできるのか？

日本最大級のオールジャンルのダンスフェスティバル、にいがた総おどり祭が20周年を迎える。
なぜわずか数名の若者たちが立ち上げた祭りが感動を呼び、支持され、続いてきたのか ——
スクリーンに踊る姿はない。しかし踊りが登場人物たちの、そして数百万人もの心を動かしてきた“エピソード”から、祭りの存在意義と未来、さらに文化が持続可能となるヒントが、今明らかになる。

STORY

何が私をつき動かすのか

雲り空、鮮やかな海、茜色の空…… 新潟で生まれ育ったから湧き上がる心地よさ。離れてしまったから感じる心許なさ。目には見えない土地に息づく風土が、そして人が、私の心を作っている。
新潟を覆う、世界につながるこの空の下に、にいがた総おどりを想う人、奏でる人、創る人が今日も心を踊らせている。27人もの心躍らせる人が紡ぐ言葉との出会に、時に笑い、頷き、思いを馳せ、万華鏡のように変わる祭りの魅力と、変わらない感動を噛み締めながら、私の中で新たな心が踊り出す。
さぁ、にいがた総おどり20年の軌跡を縦横無尽に巡るトリップへ、幕が開く。

2021年9月12日（日）～20日（月祝） ROADSHOW ［新潟・市民映画館 シネ・ウインド］にて
当日券1,800円／前売り券1,700円 ■チケットはシネ・ウインドにて販売

www.soh-odori.net #総おどり #映画エピソード

© 2021 Sight Inc.

告 知 2021年10月15日～24日 オンライン動画サイト「vimeo」にて有料配信（1試聴1,800円）予定 ※詳細はWebサイトにて随時告知予定